



# GN地域における外資系企業の活動事例



## 進出後の成果

## GN地域の自動車産業集積と顧客ニーズを捉え、業容拡大

### 企業概要

- ・ 日本法人：株式会社UL Japan（三重県伊勢市）
- ・ 親会社：UL Solutions（米国）
- ・ 進出時期：2003年 ※1993年に東京都内に日本法人設立、業容拡大に伴い本社移転
- ・ 拠点形態：本社、営業機能/その他（試験所）



本社EMC試験所外観  
（三重県伊勢市）



オートモーティブテクノロジーセンター外観  
（愛知県みよし市）

### 事業概要

親会社のUL Solutions（米国）は、安全科学における世界的企業として、100カ国以上の顧客に、安全性、セキュリティ、サステナビリティに関する試験、検査、認証サービスや、関連するソフトウェア製品、アドバイザリーサービスを提供。日本法人では、国内7箇所に事業所を設置し、米国における電気機器及び製品等への安全性を示すUL規格の認証のほか、EV急速充電の規格であるCHAdeMO（チャデモ）の認証サービス、自動車や建設機械で求められるEMC(電磁両立性)規格の適合性証明に必要な試験の実施等、各種サービスを提供している。

### 進出背景

- ・ 日本への進出以前は、日本国内におけるサービス提供を認証試験の代行が可能な日本の代理店と契約して実施していたが、業容拡大に伴い、1993年に米本社の100%出資で日本法人を東京に設立するとともに、新橋や横浜に小さな試験所を設けた。
- ・ しかし、進出当初の体制では対応出来ない試験もあり、一部の認証取得に際しては被試験体を他国へ送るため、日本の顧客は高い輸送費を負担する必要があるなどの理由から、大規模試験所設置の要望を受けていた。
- ・ こうした顧客ニーズを鑑みた拠点設置にあたり、ゼロからの拠点設立ではなく、顧客との近接性（産業集積）や拡張時の土地が潤沢にあること、試験ノウハウを豊富に有している等の条件を踏まえ、試験実績のあった伊勢市の代理店を傘下に収め、既存代理店のリソースを有効に活用する形でGN地域に進出。さらに、日本国内で多くの認証試験に対応できるよう当該伊勢市の拠点整備を進め、日本法人の本社も現在の伊勢市へと移転した。

### 地域経済への貢献

- ・ 海外市場への製品投入に際し、製品安全の規格を取得していることは輸出や取引の前提として求められるケースが多く、同社は、地域企業に対して海外市場への販売に必要な認証取得の機会を提供。
- ・ 進出後も、三重県や伊勢市のサポートも受けながら試験所を拡張しており、最近では本社内（伊勢市）に様々なメーカーの急速充電器とEVとの接続試験をするCHAdeMO協議会の「マッチングセンター」が設置されたほか、2017年に愛知県みよし市に車載機器のEMC試験、電気試験サービス等を行うモビリティ分野に注力した試験所を設置するなど、GN地域の産業集積や企業ニーズを捉えた業容拡大を続けており、認証試験等のサービス提供を通じて、地域企業のビジネスチャンス拡大に貢献することが期待される。